

<<先輩からのメッセージ>>

1 進学編

「今までの経験を活かす」

中部学院大学

私は、中部学院大学スポーツ健康科学部に合格することができました。私が中部学院大学スポーツ健康科学部を志望した理由は、将来スポーツに関する仕事に就きたいと思ったからです。私は、中部学院大学の充実した実習環境や様々な資格取得に向けて先生方の手厚いサポートに魅力を感じました。また、実際にオープンキャンパスに参加し、先生方や先輩方の優しく温かい雰囲気や、気軽に質問や相談がしやすい環境が伝わってきました。同時に体験授業を受け、この分野をもっと深く学びたいと感じ入学したいという思いが強くなりました。

私は高校時代女子バスケットボール部に所属し、スポーツを通して仲間と一つの目標に向かって取り組む楽しさ、努力し出来なかった事が出来るようになった時の嬉しさなど様々な経験をしてきました。私はこの経験を生かして将来スポーツの楽しさを子ども達に教え、成長を支えられる人になりたいです。そのために入学後は、スポーツの基礎的な知識や技術を学び授業や実習を通して子供たちへの指導方法を身につけたいと考えています。また、指導者になれるよう資格取得に向けて計画的に勉強に取り組みたいです。

受験をするにあたって面接練習や自己推薦文を何度も書き大変なこともありましたが自分の将来の夢をかなえるため「この大学に必ず合格したい」という気持ちを原動力に何度も練習を重ね最後まであきらめずに取り組むことができました。これから受験するみなさんも自分の経験を活かし、目標や夢に向かって諦めずに頑張ってください。

「介護福祉士になるために」

中部学院大学短期大学部

私は、将来介護福祉士になりたいと思っています。そのため、介護の資格を取得することが出来る大学を探し、家から車で通える大学を絞りました。その中で、オープンキャンパスに参加し、大学内の設備や雰囲気を見たり、実際に大学に通っている人に話を聞いたり、教師と生徒の距離を確認して、中部学院大学に進学することに決めました。

私は、1年生の時から、指定校推薦で大学に進学したいと思っていました。なので、1年生の時から勉強に精を出してきました。生活デザイン科では、中学で学んだ内容とは違う分野の勉強がたくさんありました。わからないことも多くありました。しかし、板書をしたり違う用紙に内容をまとめたりして対応しました。そして、テスト前には必ずテスト勉強をして、わからないところを減らすように心がけました。そのおかげで、テストでよい点数を取ることができ、学年順位も高い状態を維持することが出来ました。成績でも、高い評価をいただくことが出来ました。

勉強のほかにも、部活動にも力を入れて取り組んでいました。そのおかげで部長という責任ある役職に就くことが出来ました。また、なるべく学校を休まないように心がけました。休んだことで、勉強の遅れを出さないように、感染症以外では体調を崩さないように心がけました。

中部学院大学の指定校推薦はグループ面接と自己推薦文だと入試要項に書いあったので、過去の先輩方の面接記録を見て、対策をしました。過去の記録を別紙に記入して、面接本番を想定し、色々な先生に練習してもらいました。そして、練習後は反省会をして、言葉遣いや入室と退室の練習を繰り返し行いました。試験前日には先生に褒められるほどに面接の受け答えができるようになり、当日に備えました。試験当日は、志望動機、3年間頑張ってきたこと、大学で頑張りたいことやどんな介護職員になりたいかなどを聞かれました。予測していなかった質問にも、臨機応変に対応し、落ち着いて受け答えをすることが出来たと思います。本番はとても緊張して真顔になってしまっていますが、ニッコリ笑顔でいるとだんだん緊張がほぐれてきます。自分なりの緊張をほぐす方法を試しながら、焦らず、練習通りに受け答えをすることが大切だと思います。

「夢に近づくために」

トヨタ名古屋自動車大学校

私はトヨタ自動車の製造工程従事者になりたいと思い、トヨタの専門的な知識を学べるトヨタ名古屋自動車大学校を志望しました。特に高度自動車工学科では、最新のハイブリット技術や電子制御、自動運転などについて専門的に学べると知り、自分の将来の夢に近づけると感じました。

受験に向けては、オープンキャンパスに行き大学の雰囲気を見ることがや体験学習に参加して自分に合っているかを確認しました。私は指定校推薦で試験内容が面接だけでした。面接では志望動機や高校生活で頑張ったこと、将来どうなりたいかなど、自分の考えをはっきり伝えることを意識しました。

当日はとても緊張しましたが、面接官の方がやさしく話してくださり落ち着いて答えることができました。特に、「自分の好きな車は何か」という質問には、ただ車種を答えるのではなく、その車のどんな部分に魅力を感じているか、自分が将来どのようにその技術に関わりたのかという思いまで伝えるようにしました。車が好きな理由を語ることで、自動車に対する情熱を面接官の方にも理解してもらえたと感じました。

面接が終わった瞬間は緊張から解放されましたが、自分なりにしっかりと伝えきれたという手応えがありました。合格通知を受け取ったときは、これまでの準備が実った喜びと、これからの学びに対する期待で胸がいっぱいになりました。今後は高度自動車工学科での学びを大切に、トヨタの最前線で活躍できる技術者になるために、日々成長し続けたいと思います。

「小さな一歩」

トライデント外国語・エアライン・ホテル専門学校

私は小さい頃、多言語で様々な人々に流暢に話している様子や、笑顔で接客しているグラインドスタッフさんに憧れました。それがきっかけで、他の教科より英語の勉強に力をいれたりして、中学生から頑張っています。

オープンキャンパスには2年生の頃から行き始めましたが、3年生になり今の進学先のオープンキャンパスに初めて参加しました。そこで、先生方が一人一人にアドバイスをしてくださり、自分の悪いところ、良いところを教えてください、手厚いサポートが自分に合っていると思いました。就職率も高く、インターンシップで現場に行き様々なことを学べる点からここでなら夢をかなえられると志望しました。成績については、3年生の始まりに1, 2年生の成績をあわせた評定が出るのですが、その時点で評定が低いと選考方法も限られるし、奨学金がもらえるかももらえないかが決まります。3年生だけのテストで評定をあげるのは相当勉強しないと難しいので、1, 2年生のうちから評定を上の方に保つことが大事だと思います。また、テストの結果がそこまでよくなくても授業態度や提出物でも成績が決まるので、テスト以外にも努力するべきです。

日頃の身だしなみ検査では、私が1年生の頃に先輩から引っかからないようにしたほうがいいと言われたので、身だしなみ検査の日を把握し前日に爪や前髪を切るなど、引っかからないように努力しました。

進学先への提出物は余裕をもって、用意して提出してください。私は指定校推薦、書類のみの受験で特待生選抜を希望し、特待生に選ばれることができました。指定校推薦で受けた場合は、授業態度、成績、身だしなみ全て気を付けることに心がけて学校生活を送ってください。

2 就職編

「内定を貰うまで」

株式会社 桜井グラフィックシステムズ 岐阜工場

私の進路が決まったのは、2年生の頃のインターンシップで、桜井グラフィックシステムズを見学したときでした。それまでは、「社会に貢献したい」という漠然とした思いだけで就きたい企業が決まっていませんでした。しかし、インターンシップを経て、漠然とした思いが「可能性に満ちたスクリーン印刷技術で社会に新しい便利さや価値を届けよう」という明確な思いに変わりました。それから私は、まず会社のホームページや求人票で情報を集めて、どんな人を求めているのかを調べました。3年生になってからは、SPIの本を買って勉強し、適性検査のCUBICの対策をしました。また、面接のために自己分析をして、どんな質問にも答えられるようにしました。夏休み中の応募前職場見学では、疑問に思ったこ

とを質問し、不安なく就職試験に挑めるようにしました。夏休み後の面接練習では、複数の先生に面接官役を頼みました。面接練習を重ねるごとに自分の問題が明らかになったので、その対策をして再度面接練習をすることで本番に備えました。そして就職試験の日、今まで積み重ねたもの全てを活かして臨みました。面接は手ごたえがなく、心配になることがありましたが、何とかほとんどの質問に答えました。適性検査では、短い時間でたくさんの難しい問題を解く必要があり苦戦しましたが、練習のおかげで解くことができました。結果、無事に内定を取ることができました。内定を取るためにはたくさんの準備と練習をすること、その上で心配を感じても自信を持って本番に臨むことが大切であると思いました。

「悩んだ進路先」

日本トムソン株式会社

私は、進学をしてまでやりたいことがなかったので就職を選びました。就職に決めたものの、やりたい職種も無くどんな企業で働きたいのかも決まりませんでした。そんな時、進路サポート室に相談に行ったら多くの先生方から日本トムソンを勧められました。

勧められた後は、企業について詳しく調べたり、授業で行った多くの企業の説明会で企業の方から直接話を聞くなどしました。応募前職場見学では、詳しい仕事内容、福利厚生を教えていただき、現場を見せていただきました。現場を見学して、各々が自分の仕事に真剣に向き合っており、分からないことも気軽に相談しあえる関係がとても良いと思いました。

進路先を決めてからは、日頃の授業はもちろん、定期テストでも点を取り成績が落ちないようにしました。就職試験が近づいてからは、面接練習が増えました。面接練習では、人前で話すことが苦手なのもあり、声が小さくなってしまったり、上手く受け答えができなかったりしました。それでも、先生方に練習を頼み、最終的には良い評価をいただけたので、初めの頃より自信を持って面接に挑むことができました。面接以外にも学科試験、適性検査、作文があったのでそれに向けた勉強や、対策もしていました。後日、内定通知が届いた時はとても安心したし、頑張ってきて良かったと本当に思いました。

自分の進路を決めるときは、悩んだら両親や先生方に相談する事も大切だと思いました。また、自分の行きたい企業に受かるためには3年生からではなく1, 2年生からの成績の積み重ねも大切な事だと思ったのでそれを大切にして学校生活を頑張ってください。

「やるしかない」

大同プレーンペアリング

私が高校生活で頑張ったことは、部活動です。部活動はサッカー部に所属していました。そして、1年生のころから試合にスタメンとして出ていました。その経験を生かして、部活動では、積極的に声を出し場を盛り上げることを頑張りました。そのおかげで練習中でもみんな声を出すようになり、雰囲気がとてもよくなりました。最後の試合では、負けてしまったけれど、とてもいい思い出になっています。なので、頑張ってきてよかったなと思いました。

た。

就職についてはどの場所で働くかも決まっていませんでした。なので、積極的に企業説明会に参加したり、インターネットでたくさん調べたりしました。2年生でインターンシップに行く機会がありました。私は成績があまりよくなかったのですが第一希望の会社に行かせてもらえることになりました。実際に仕事をして社内の雰囲気などがとても気に入りそこに入ろうと決めました。ですが成績が悪く先生たちからは今のままじゃ無理だといわれました。そこから生活態度などを改め勉強なども頑張りました。その結果行きたかったところを受けに行けるようになりました。それから、面接練習を頑張り実際に内定をもらうことができました。諦めずに頑張ってきてよかったと思いました。

2年生のインターンシップに行きそこでいい印象を持ってもらい3年生の就職試験で合格することができました。なので、インターンシップは適当に決めずしっかり自分の未来を見据えて本当に行きたいところを選んでほしいです。

「先輩からのメッセージ」

都ホテル岐阜長良川

私は都ホテル岐阜長良川を就職先にしました。志望理由は、都ホテルの立地が最高で印象に残ったからです。以前都ホテルを訪れた際に、客室から見た長良川がとてもきれいで、まるで一枚の絵がそこにあるかのような気分になりました。時間や空間も含めたサービスを提供しているホテルだと感じたので都ホテルを志望しました。就職試験では、面接2回と小論文を行いました。小論文では、「人の心を打つ接客、料理」がテーマでした。事前に、自分の思う最高の接客をテーマに作文を書く練習をしていたのでその文をそのまま書きました。練習のおかげで落ち着いて取り組むこともできました。試験時間が30分程で、マスなしの横書き用紙でした。時間がぎりぎりだったので作文練習をしておいてよかったと思いました。一次試験での面接では、部活動、アルバイトのことを中心にきかれました。具体的には、マニュアルは使っていたかや、部員の人数、チームワークのためにあなたが行ったことなどを話しました。面接官は3人で、20分ほどで終わりました。進行役の方が、言葉が詰まっても、そばでサポートしてくださり、少し緊張が解けた状態で面接を行うことができました。二次試験の面接では、様々な質問をされましたが、二回目ということもあり、聞かれたことにちゃんと答えることができました。面接官は、4人で、20分ほどで終わりました。子供と高齢者とかかわるうえで意識したこと、ダンス部で踊るダンスのジャンル、大会に出るのか、アルバイトでのエピソード（うれしかったこと、苦勞したこと）、自己PRなどを話しました。一次も二次も、意外と話しやすい雰囲気だったので、できるだけ笑顔で大きな声で話すことを意識しました。関有知の先輩が3人も働いているということもあり、学校のことをたくさんほめてくださり、うれしかったです。